

行政評価シート

事務事業名	工業団地造成事業			事業開始年度	平成27年度
担当部	産業部	担当課	商工課	担当係	企業誘致係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(3)若者の定住を促進します
施策 (手法)	②多様な就業の場の確保と若者のチャレンジ
取組事項	I. 企業誘致の促進

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	産業集積の拠点として新たな工業団地を整備することにより、市外企業の新規立地や既存企業の増設・移転等が促進され、産業の振興と多様な就業の場の確保が見込まれる。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	基本構想、基本設計、実施設計、不動産鑑定、工損調査、用地取得、造成工事、確定測量
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	企業立地件数			指標の単位	件
指標の説明	企業への用地売却件数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	-	-	-	-	3
実績(見込)値	-	-	-	-	2
達成度(%)	-	-	-	-	66.7
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	長命工業団地の造成工事は令和元年度で完了し、概ね計画通りに進んだ。今後、分譲地の早期売却に向けた取り組みを強化する必要がある。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	企業訪問や市ウェブサイト等の活用により積極的な誘致活動を展開するとともに、分譲地の販売状況を見極めた上で次期候補地の選定を進める。

行政評価シート

事務事業名	新規創業支援事業(創業支援事業)		事業開始年度	平成28年度	
担当部	産業部	担当課	商工課	担当係	商工振興係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(3)若者の定住を促進します
施策 (手法)	②多様な就業の場の確保と若者のチャレンジ
取組事項	Ⅲ. 若者の夢チャレンジ支援

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	創業相談、セミナー等により創業に必要な知識等を得る場を提供し、実現性を高める。また、空き店舗を利用し、創業する場合は改修費等の一部を補助することにより、空き店舗の解消、商店街の維持に寄与する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗改修費等補助金(改修費・店舗賃料の一部) ・創業支援事業者補助金
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	新規創業者数(空き店舗)			指標の単位	件
指標の説明	空き店舗を改修し、創業した者の数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	3	3	3	3	3
実績(見込)値	3	3	3	5	8
達成度(%)	100.0	100.0	100.0	166.7	266.7
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい経営を強いられている創業者もいるが、人気店となっている店舗もあり、市内の活性化にもつながっている。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	拡大
【説明】	<p>活力の失われた商業を活性化するためには、既存店舗の努力はもちろんだが、新しいコンテンツの導入が不可欠であり、今後も支援していく。</p>

行政評価シート

事務事業名	UIJターン支援事業			事業開始年度	平成30年
担当部	総務部	担当課	秘書政策課	担当係	地方創生・新エネ推進係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(3)若者の定住を促進します
施策 (手法)	②多様な就業の場の確保と若者のチャレンジ
取組事項	Ⅲ. 若者の夢チャレンジ支援

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	UIJターン支援事業として、大卒者等定住促進奨励金制度を創設し、UIJターンを促進する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	大学等を卒業し市内企業に就職した方に大卒者等定住促進奨励金を支給する。
------	-------------------------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	大卒者等定住促進奨励金支給件数			指標の単位	件
指標の説明	大卒者等定住促進奨励金支給件数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込み)
目標値			20	20	20
実績値			4	5	(5)
達成度(%)			20	25	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込み)
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】					
【説明】	平成30年度事業開始 当初想定したよりも大学等を卒業後に市内企業に就職する方が少なかった。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
奨励金については、随時見直しをしながら進めることとする。 当初は、奨学金の残高がある者だけを対象としていたが、教育ローン残高がある者も対象に加えた。	